

# 会 議 録

内 容：平成 26 年度軽井沢町ランドデザイン像作成に伴う会議（第 8 回/全 18 回）

場 所：軽井沢町役場 第 3・4 会議室

日 時：平成 26 年 7 月 7 日（月）13 時 30 分～16 時 30 分

出席者：軽井沢町（藤巻町長、横島参与、森室長、遠藤、春原）副町長他 6 名  
中村委員長、浅野委員、udc(護、小野寺), 小野寺事務所(上條), アトリエ T-plus(南)

①「軽井沢 100 年未来デザイン像」イマイ氏との協議について小野寺氏より説明があり、確認を行った。結果下記。

◆契約について

- ・買い取り方式、著作権については問題なし。

◆使用方法について

- ・どんな使用も問題なし。図版のトリミングも問題なし。

◆サイズについて

- ・サイズ→60 cm×90 cm 画角→吉田初三郎氏の鳥瞰図から南側を伸ばした範囲（資料 2）。

◆図版について

- ・キャッチフレーズを図版に入れるのは難しい。外す方向としたい。しかし吉田初三郎の絵の様に「地名」「施設」は入れ、絵として表現してみたい。（イマイ氏）
- 初三郎氏の地名は沢山入っている。例えばその全部 100 の地名を入れるのか、キャッチフレーズのみ 20 を入れるのかは同じくらいの文字数、多さとなる。どちらを選択するのかは再検討して欲しい。（横島参与）
- キャッチフレーズを絵として入れる事は難しい。デジタル加工するかどうかは図版が完成してから検討したい。（小野寺）
- ・絵のタッチについては検討中であるが、初三郎氏の空気感、緻密さを取り入れた、今までにない新しい試みとしてチャレンジしたい。（イマイ氏）
- ・絵の色合いについて、初三郎氏の絵は古色蒼然の雰囲気だが、それとは違う新しい色彩感覚を挑戦したい。（イマイ氏）
- ・絵の立体感について、南側の範囲は広がっても立体感が取れるように、遠近については調整する。
- ・季節感については、虚構として取り入れる事も可能である。検討したい。（イマイ氏）
- ・子供の副読書本ともなる絵を期待している。決して普通の絵ではない事をイマイ氏と再確認して進めたい。（横島参与）

◆進め方について

- ・キャッチフレーズは今月中に確定する。（予定）
- ・イマイ氏の来軽（下見）は、8 月中を予定。①町中の案内、②デザイン案（図面、模型

等)の説明を行う。

- ・下書きの時点で軽井沢町と内容を確認、修正を行いながら進める。

## ②軽井沢グランドデザイン像冊子について、議論を行った。結果下記。

### ◆冊子等の構成について

- ・絵やスケッチのみでグランドデザイン像、エリアデザイン像を語るのは勿体ない。現在、横島参与試案「軽井沢の 100 年後のグランドデザイン像を描く」(約 20 頁の概説書)を作成している。副教材としてまとめたい。(横島参与)

- ・①冊子と概説書をセットとするか、②冊子に内容を入れ込むのか、③別途、絵なども入れ込み「出版」という形でとりまとまる。

→①、②についてならば、業務内で検討する。(udc)

- ・用語解説も必要と考えている。20 のキャッチフレーズの言葉を説明する事で「解説」となるのではないかと考えている。用語解説は 1 頁程度。(横島参与)

### ◆冊子等の部数について

- ・契約部数の 500 部は、議会等の送付を検討しており、当初は全町民への配布は検討していなかった。

→500 部では少ないのでは。

⇒冊子の取扱いを再確認し、内容、部数(増刷)等について町の意向を整理して欲しい。

(中村委員長)

## ③エリアデザインについて小野寺氏より説明があり、議論を行った。結果下記。

### ◆全体について

- ・今回の会議までに進士委員と安島委員との個別協議(7月4日)を行った。
- ・森山委員とも議論の場が持てたので意見を伺っている。(中村委員長)
- ・上記の意見を踏まえて内容を整理しているので、それをもとにデザイン検討を行いたい。

- ・スケッチはアイレベルとして欲しい。(中村委員長)→了承

- ・図面表現については、コンセプトを強調して記載する工夫が必要である。(中村委員長)

→表現の強さの問題もあるが、限界を設定すると進士先生からご意見を頂いた様なドラスティクな絵とならない。会議内で協議していく中で現実的な案となってくるが、今一度、理想を描く事について再確認した方が良い。(横島参与)

### ◆エリアデザインについて

【旧軽井沢】

1. 聖祝祭プラザ+ 3. 旧軽銀座の街並み+ 3. 別荘保存の決意表明図

### 中村先生のご意見

コンセプト：森のイメージを銀座通りまで伸ばす。(民地にも高木を配置する)

・堀辰雄「美しい村」は、軽井沢物語を語る上で大事になる小説と考えている。特に4つの散歩道は大事と考える。小説に出てくる樹木や植物について大事にしたい。(野イチゴ、グミ、野ばら、アカシア、トチ、ブナ、モミ、カラマツ、等)スケッチを描く際には、樹木、植物のディテールまで入れて表現して欲しい。

・広場内に「神木」を配置する。

・「花」もテーマとなり得る。良いインパクトとなるアイテムとなると思うので念頭に置いておいて欲しい。

→「美しい村」に出てくる旧軽井沢は軽井沢の原風景である。また、現在、諏訪神社の境内には「トチ」の樹がある。(町長)

⇒建物だけでなく、樹木については何らかの形で表現したいと考えている。森と自然を表現する方法については、作業班でも検討して欲しい。(中村委員長)

○旧軽銀座モダンについて

・銀座通りの建物の建替えの際には、資料7(現旧軽井沢地区内の良さそうな建物を抜粋)の様な建物を参考として絵を描く予定である。

→外部に提示する際には資料の扱い方には気を付けて欲しい。選択した理由についてのコメント(良いコメント、悪いコメント両方)を裏付けとして用意しておく必要がある。

例えば、19番目の建物写真について、前面のガレージは評価できない。車が居ない時に写真を撮り直す等の工夫は必要。また浅野屋の看板色(赤色)は町の自然対策要綱から見てぎりぎりのラインであり、優良建物として推奨しにくい部分もある。(横島参与)

→報告書の記載は考えているが、外部の提示する冊子等には入れない方向である。あくまでもスケッチを描く参考とする。

→街並みの細かなコードを設定する事は難しい問題であり、軽井沢でそれを設定する事が良いかどうかについては疑問を感じるという意見を進士先生、森山先生から頂いた。

地元の工務店等が中心となった「軽井沢モダン」を研究する勉強会を立ち上げ、そこを紹介する様な仕組みができれば良い。(盛岡まちなみ研究会、富山県八尾町、山形県金山町、福岡県八女市)22世紀フォーラムの中にもその様な機能も含む事が出来れば良い。

この様な取り組みは、初めからコードを設ける事より、風土自治の理念からしても大変好ましい。(中村委員長)

### 【新軽井沢】

1. 芸術遊創プラザ周辺(矢ヶ崎公園)+2. 駅東口から大賀ホール+3. 国道133号(表通り)

### 中村先生のご意見

コンセプト: ①公園内の都市、②パブリックアートガーデン

・進士先生から、地割の拘らない公園内にある都市(公園と市街地の融合)とする事が22世紀の未来像であると提案頂いた。また、森山先生からも現在の地割ではない大胆な案とする事と駅前にはアートを取り入れる事について様々な意見を頂いた。

・①進士先生からの意見をもとに、駅前には軽井沢の原風景を感じさせる様、思い切って緑を取り入れた公園とし、駅前にあった建物は、矢ヶ崎公園内に点在させる事を提案したい。

- ・②森山先生からの意見をもとに、駅前の公園にはパブリックアートガーデンとし、自然（風による音、光）と関係するアート（モダンな彫刻等）を設置する等を検討したい。また、アート性を高めるため駅前には「ゲートミュージアム」を設置。

ゲートミュージアム：軽井沢にある 30 の美術館の作品の一部、模範となる作品を展示する。軽井沢ポータルミュージアムの立体化。（例：国立デザイン美術館をつくる会（三宅一生、青柳正規））

テキスタイル美術館：群馬県～長野県の製紙の歴史を活かした展示

→森の中に街がある感じは、軽井沢らしくて良い。しかし表現する際には、なるべく民地帯が特定しにくい様な工夫はして欲しい。（町長）

→絵を描いてみる事は可能であるが、新軽井沢は整備の可能性が高い地区として実現可能な絵を描く事を目的としていた。実現可能な絵としてやる気を阻害するものとなる事が懸念される。（小野寺）

→計画として考えるとどうしても制約が出てくる。方向性、方針を示すコンパスとして表現しなければ、意図した事が伝わらない。10年、20年、30年と段階的に表現する事が必要かもしれない。（中村委員長）

→100年未来像を描ける地区は新軽井沢である。実際にはLRTに関しても実現可能かどうかは未定であるが案は提示している。それなら思い切った大胆な絵を描いても良いと感じる。しかし、大胆な絵を提示するには、前ふりによって捌かなければならない事が出てくる可能性があるが、その地域性はあるのか？

→グランドデザイン像の発表会にて、説明を聞いてくれた方は理解して頂けると思うが、絵だけを見た方は誤解する可能性が高い。上手く説明ができれば良いが難しい。（町長）

→東京駅の大胆な改造を行っている。それにならったという説明も可能と考える。時間も迫っているので、どちらの方向でまとめるのか決定する必要がある。町の決断が必要である。（横島参与）

- ・換地プロジェクトとセットで計画すれば、住民への理解が得やすいのでは。（浅野委員）

→再開発の事業計画の様に実現的になってしまうため違和感がある。（横島参与）

⇒大胆な絵を描くか、描かないかは、町の決断が必要であるが、表現方法は事務局で検討して欲しい。（中村委員長）

○LRTの国道設置について

- ・しなの鉄道と並走させる様にLRTの軌道を国道18号に敷設する方が難しい。50年後はしなの鉄道が存続しているかも危うい。しなの鉄道の乗り入れの方が理解を得やすいと考える。（浅野委員）

→依田課長はLRTの住民意識が高まり、走行速度等の技術的な進歩が伴えば合理性はあるとの考えを持っている。町としての意向を再確認する必要がある。（横島参与）

○LRTの南側延伸について

- ・LRTを駅の南口まで延伸させる事で、ショッピングプラザから旧軽井沢へのアクセスをつくる事ができる。ショッピングプラザに来た観光客がLRTを利用し旧軽井沢まで足を伸ばしてもらい事ができ、メリットがある。ショッピングプラザ内にも移動手段があれば、なお

良い。(浅野委員)

・100年後を考えると今の軽井沢駅は無くなる。利用しにくい駅なので改良を検討しても良いのでは。(浅野委員)

→50~100年後なので、ショッピングプラザのためのLRTというよりは、現在検討している国施設の誘致場まで延伸する事とセットとして計画できればプロジェクトとして考えられる。(町長)

→南に延伸する事は、描けない絵ではない。パーク&ライドも提案可能であり、町長が提案していた省エネの施策にも合致する。またサミットのプロバカンダとしても良い提案である。(横島参与)

→LRTは南北の1本に絞る事も考えられる。また、LRTの駅設置と併せて店舗の誘致も検討できれば良い。現在、新軽井沢駅付近の店舗立地は利点が少ない。LRTの新駅付近に移転してもらう事が提案できれば、大胆な駅前案の理由づけの一つとする事ができる。(町長)

→サンクンガーデンの様に掘り込み、プラットホームで繋ぐ案もあり得る。しかし北口は国道から駅までの延長が短くLRTを潜らせる事は難しいと感じる。方法については要検討。(小野寺)

⇒LRTの延伸は、駅前を大胆な提案とする理由づけにもなるので、新軽井沢地区のエリアデザイン表現方法を含めて検討して欲しい。町としての決断もお願いしたい。(中村委員長)

→ランドデザイン像は100年後のあるべき姿を示すものなので、駅前が緑になっても良いと考えている。現案は現実と夢が混在してしまっていると感じる。(町長)

→2~3年後、10年後と様々な提案が混在している。大胆な絵とする事について理解し頂く必要はあるが、絵の表現についてはプランナーにお任せしたい。(横島参与)

→北口の駅前を公園化する計画の絵を作成する方向としたい。(小野寺)

・県道133号からの水路を矢ヶ崎公園に引っ張ってきても問題ないか。

→雨水を処理する下水路なので問題ない。要確認(町)

#### 【南軽井沢/南地区】

1. ユウスゲフォーラム(風の庭) + 2. 発地市庭、植物園(山の庭) 3. 里山博覧エコミュージアム

#### 中村先生のご意見

コンセプト: ①ジュニアスポーツガーデン、路肩駐車場の設置(ユウスゲフォーラム)

・ユウスゲ湿地帯前(アイスパーク横)に駐車場は設置したくない。周辺道路の路肩に駐車場を設置(公園化)し対応できればと考えている。

→路肩に駐車場を設置する事は、「自然対策要綱」としての許可していない事項であるので、難しい。また駐車場の下にはアイスパーク用の管が多く配置しており移設は難しい。駐車場を移設しても、植物の植える事が難しいと考える。(町)

⇒やはり、ユウスゲ湿地帯の前に駐車場がある事は良くないので、検討して欲しい。（中村委員長）

コンセプト：①里山セラピー、②里山圏マネジメントセンター

・湿地帯とする事に対して地元の反応が知りたい。（中村委員長）

→農業振興地域のため水田として利活用する必要がある。（町）

→いずれは水田にかえす予定である。（中村委員長）

→水田の有効利用については地元の検討会で絵を描いた。個々の想いを絵に描いたため、最終的な結果はでていない。（町）

→土地を購入してもらえたら良いという方が多いと思う。ホーストレッキング等は民地側に影響しないので問題ないと感じる。水田に返せるのであれば、まちの施策次第で利活用を検討しても問題ない。（町）

→それよりも、直売所前の駐車場の方が、折角の農地風景がなくなる事に対して反論があるのではと思う。（町）

#### 【中軽井沢】

1. 街区と水路＋2. 湯川＋長倉公園＋3. 国道146号（表通り）

・実現段階では問題が発生する可能性はあるが、提案段階では問題ない。（町長）

⇒スケジュール上、問題なく進んでいる。ディテールについては7月中にまとめる予定である。8月下旬にもう1回、会議を開催したい。まずは町長のスケジュールを調整して日程を決定したい。（中村委員長） → 了承

#### ○次回の協議について

・次回会議は、平成26年7月25日（金）とする。

・議題は

1) 100年未来デザイン

①イメージ図の検討

2) エリアデザインの仕様

①各地区仕様（全体図に描きこむ事物・施設、例示場所（再確認含む））

②例示場所イメージ図

2) グランドデザイン像冊子

①構成について

3) 工程表（作業項目と日程）

4) 会議開催予定日程

#### ○配布資料

1. 次第

2. 前回議事要旨（資料1）

3. グランドデザインイメージ図(初三郎ベース) (資料2)
  4. 自転車・LRT ネットワーク図 (資料3)
  5. エリアデザイン5地区(説明入り) (資料4)
  6. 南軽井沢・中軽井沢の模型写真(資料5)
  7. エリアデザインのスケッチ用模型写真・内容の整理(資料6)
  8. 旧軽井沢モダンについて(資料6)
  9. 軽井沢モダンについて(資料7)
  10. 軽井沢グランドデザイン像冊子(案)の構成について(資料8)
  11. 平成26年度軽井沢町グランドデザイン像作成工程表(資料9)
- ※ 地区模型

以上